

科目名称:	乳児保育Ⅱ	
担当者名:	竹田 亜裕美	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児保育Ⅰを踏まえ、乳児保育に必要な知識や技術をさらに習得し保育士となる自覚をもつ。 2. 乳児の生活と保育について講義と演習により具体的に学ぶ。 3. 事例検討やグループ討議により学びを深める。 4. プレゼンテーションなどを行い能動的に学ぶ。 5. 乳児保育をするために必要な教材研究を行い、実際にそれを活用した保育実践力をつける。 		
授業の達成目標・到達目標		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 聞いたこと、学んだことをまとめ、表現することができる。 2. 子どもの心身の発達支援や対応についての技能や知識を持っている。 3. 教育・保育に必要な知識・技能を高める努力をしている。 4. 保育者としての使命感、倫理観、責任感を理解している。 5. その場に応じた柔軟な対応ができる 		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	○
DP(3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)					0
全学DP(2)			60	40	100
全学DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 保育士	《経験年数1》 8年
	《内容2》 主任保育士・主幹保育教諭	《経験年数2》 15年
	《内容3》 園長	《経験年数2》 3年
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
理解度	授業内容を理解し、乳児保育に意欲を抱いている。	乳児保育者として望ましい対応を理解している。	乳児保育者としての対応に重要性を理解している。	乳児保育者としての重要性が何かを理解できない。
授業態度	授業の内容に興味関心を抱き、意欲的に取り組んでいる。	授業の内容に興味関心を抱き、課題をこなしている。	授業での課題をこなしている。	授業に興味関心を抱けない。
自身の考察	授業をふり返り、自分に引き付けて捉え、自分の考えを導き出している。	授業をふり返り、自分に引き付けて捉えることができる。	授業をふり返り、自分の思いを書くことができていく。	授業をふり返り、内容の報告に留まっている。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 乳児保育の基本：子どもと保育士等との関係の重要性	自らの理想の保育者像を言葉で述べられるようにしておく	30分
第2回 乳児保育の基本：個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり グループワーク：おんぶと抱っこ	個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わりについての理解をノートにまとめておく	30分
第3回 乳児保育の基本：子どもの主体性と尊重の自己の育ち グループワーク：おむつ替えと着替え	子どもの主体性と尊重の自己の育ちについての理解をノートにまとめておく	30分
第4回 乳児保育の基本：子どもの体験と学びの芽生え	指定された遊びからどのような学びが芽生えるのかを調べておく	30分
第5回 手作りおもちゃについて	手作りおもちゃのメリットとデメリットをノートにまとめておく	30分
第6回 おもちゃ作り～目標達成のために試行錯誤する～	作りたいおもちゃに必要な材料を考え、準備物を揃える	30分
第7回 おもちゃ作りの振り返り～学びを共有し、さまざまな視点から考える～	作ったおもちゃで子どもがどんな遊びをするか、どんな学びがあるか、どんな配慮が必要かを考えておく	30分
第8回 乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実践：保育環境の理解 グループワーク：環境設定を考える	保育所保育指針（幼稚園教育要領・認定こども園教育保育要領）の環境に関する項目を調べておく	30分
第9回 乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実践：授乳と離乳食について グループワーク：調乳	授乳と離乳食の実践についての理解をノートにまとめておく	30分
第10回 乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実践：沐浴 グループワーク：沐浴	沐浴の実践についての理解をノートにまとめておく	30分
第11回 乳児保育における配慮の実践：乳児の病気について	自身がかかった感染症について、その状況とともに家族に聞いておく	30分
第12回 乳児保育における配慮の実践：事故予防と安全 グループワーク：危険予知トレーニング	インターンシップ先や実習先で危険を感じた場面をノートにまとめておく	30分
第13回 実習から学ぶ グループワーク：実習でのエピソードを記述と口頭で伝える	実習時の心に残ったエピソードをノートにまとめておく	30分
第14回 連絡帳の書き方 グループワーク：連絡帳を書く	第13回のエピソード記録を保護者に伝えるために工夫する事を考え、ノートにまとめておく	30分
第15回 乳児保育における実践のまとめ（Q&A） グループワーク：子どもの気持ちを考える	これまでの授業内容を見返しておく	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント（小レポート）をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業への積極的態度 40% 提出物 60%

課題に対してのフィードバック

各課題に対して、その都度コメントでフィードバックする。最終課題は、希望者には返却する。

教科書・参考書

（）教科書：「はじめて学ぶ乳児保育」第二版 同文書院（）
参考書：「0・1・2歳児の発達と保育 乳幼児の遊びと生活」乳幼児の発達と保育研究会 郁洋舎